

3年 進路だより

2021年11月30日
京都市立近衛中学校
進路係 羽田

おうちの人にも読んでもらってください



「不安に尧つ」

受験に向けて不安になることがあります。「本当に合格するのだろうか。もし落ちたらどうしよう。」いろいろなマイナスの場面が頭をよぎることでしょう。これは多かれ少なかれ、みんな同じことで、ほぼ全員が不安を抱えていると思います。

「努力はうそをつかない。」といいます。「今の努力は必ず報われる」と信じましょう。信じる力は人を努力へ向かわせる原動力でもあるのです。

さらに不安があればこそ緊張もあり「がんばらなくては」という努力の原動力になります。不安がない人は努力もしない。不安があるからがんばれる。大切なことは不安におびえず、不安と付き合うこと。その不安は皆さんを努力へと導き、そしてその先にあるのは『合格』です。

受験（検）に勝つとは、試験当日まで、自分は十分に頑張ったと自信を持てること。そして試験当日は、実力が発揮できたと満足できること。さらに、自分が入学することになった学校を、良い学校だと喜べること。これが、本当の意味で、受験（検）に勝ったといえることなのです。あなたの前には、勝利が待っていますよ。

「令和4年3月卒業予定者の 進路希望状況(11月現在)」

本日11月の進路希望調査(公立高校の志望状況)を集計したものを配布します。京都府内の公立・私立の中学校及び特別支援学校中学部等を来年の3月に卒業する生徒の進路希望をまとめたものです。もちろん皆さんの希望も入っていますよ。裏面の説明をよく理解して、志望校決定の参考にして下さい。

ただし、これは11月の調査です。その後、志望を変更した人もいますし、これを見て変更する人もいるかもしれません。

データを見て皆さんが一喜一憂した姿が目には浮かびますが、安易に安心したり不安になりすぎないようにしましょう。

不安をプラスに変え、努力を信じることが大切です。





「卒業予定者の進路希望状況」の 補足説明

これはみなさんが提出した11月の進路希望調査を、京都府全体で集約したものです。

▽広報内容

- (1) (表紙) 令和4年3月 中学校及び総合支援学校中学部 卒業予定者数
- (2) (第1表 P1) 進路希望状況
- (3) (第2表 P2) 公立高等学校 学校別・学科別志望状況

▽これらの情報に関する補足

・2ページ上段 2つめの■に、「志願者数は、各学科等を第1希望とする生徒（前期選抜・中期選抜を問わない。）」と書かれています。つまり、前期選抜および中期選抜第1順位の希望数の合計ということです。ですので、中期選抜第1志望第2順位と第2志望の希望数が集計されていないということです。

・希望者が定員に満たない学校がいくつかあります。でも、中期の第2順位や第2志望を入れると定員を超えるかもしれません。

皆さんが「行きたい学校」「3年間過ごす学校」「3年後に進みたい方向へ導いてくれる学校」を選ぶための参考にしてください。

進路係のつぶやき

今回の「不安に克つ」という題ですが、「克つ」と「勝つ」の違いがわかりますか？

相手がいて、その人（または集団）との試合や勝負・競争・比較で、勝利を得たり、より優れた結果を出したりすることを「勝つ」といいます。

自分の心の中にあるマイナスの気持ち（たとえば根気が続かない）や、自分を取り巻いてるマイナスのもの（たとえば、体調が悪い）、それらを、自分の努力で抑えたり乗り越えたりすることを「克つ」といいます。

